

2016-2025年の主要論文等

【2025年末現在】

【主要著書・論文】（掲載年月降順）

- 2025(a)「ドイツの病院再編と診療報酬制度の大胆な転換—2024 年の病院医療改善法のインパクトと今後の展望ー」、1-18.
- 2025(b)医療情報と臓器の提供における「本人の同意」に関する考察—ドイツの電子患者記録の設定と臓器提供における Opt-out 方式への転換のための法律案をめぐる論争から考えるー」、1-14.
- 2025(c)「子育て家庭に対する経済的支援の政策選択—ドイツの児童手当と税の児童扶養控除の一元化の過程から考えるー」、1-14.
- 2025(d)「ドイツの 2025 年新政権と連立協定から見る社会保障改革の見通し」、1-20.
- 2025(e)「ドイツの外来保険診療の特徴とその改革—2025 年医療提供強化法を中心としてー」、1-18.
- 2025(f)椋野美智子、田中耕太郎『はじめての社会保障 第 22 版』、有斐閣アルマ.
- 2024(a)「ドイツ介護保険の動向と 2025 年の改正内容—給付額の 4.5% 引上げと保険料率の 0.2% 引上げー」、1-9.
- 2024(b)「ドイツの医療デジタル化の新たな段階とその見通し—2024 年デジタル法の成立とその評価ー」
- 2024(c)椋野美智子、田中耕太郎『はじめての社会保障 第 21 版』有斐閣アルマ.
- 2023(a) 「特別掲載 ドイツ新連立政権下の介護保険改革と今後の見通し」 『週刊社会保障』 No. 3239 [2023. 10. 16] 48-53.
- 2023(b) 「ショルツ新連立政権下の介護保険改革と今後の見通し」、1-13.
- 2023(c) 「ドイツの医療デジタル化と患者データの保護-患者主権の確立と日本への示唆ー」 『山口老年総合研究所年報34』、1-15.
- 2022(a) 「ドイツとの比較から医療保険の歩みと今後を考える」 『健康保険』 2022. 8、14-19.
- 2022(b) 「ドイツ介護保険の四半世紀の軌跡と直面する課題への挑戦」 『山口老年総合研究所年報33』、1-18.
- 2021 「ドイツの医療提供体制と新型コロナウイルス感染症への対応」 『山口老年総合研究所年報32』、1-18.
- 2019 「「平成」を振り返りこれからの健保組合に期待すること」 『健康保険』 2019. 3、18-25.
- 2018 『独仏の医療保険制度に関する調査研究<ドイツ報告書>』、健康保険組合連合会、1-133.

[論考資料等]

2025(a)「<資料>保険医の需要計画の算定式」、1-13.
2025(b)「社会福祉と民事・刑事法との関わりと協働(メモ)」、1-5.
2025(c)「物価・賃金の変動と年金額改定の算定式」、1-4.
2024(a)「ドイツ社会保障制度における<家族>の位置づけと評価」<医療介護福祉政策フォーラム第 117 回月例社会保障研究会講演資料>
2024(b)『週刊社会保障「時事評論」掲載論考集 2015 年 5 月～2022 年 11 月』、1-98.[電子ブック版]
2023(a)『週刊社会保障「時事評論」掲載論考集 2015 年 5 月～2022 年 11 月』、1-98.
2022 「ドイツの医療保障制度に関する動向-新型コロナ対策、介護保険を含む-」<第 678 回医療経済研究会講演要旨>『MonthlyIHEP2022 年 4 月号』、14-27.

[新聞寄稿等]

2025「オピニオン 子育て家庭への経済支援 手当と扶養控除の一元化を」『中国新聞』
2025.8.30.
2024(a)「オピニオン マイナ保険証押し付け 医療現場の混乱招く 撤回せよ」『中国新聞』
2024.10.5.
2024(b)「オピニオン 行き詰まる介護保険制度 対象を広げ金銭給付の導入を」『中国新聞』
2024.5.18.
2024(c)「オピニオン 行き詰まる社会保障 制度を透明化し原点に返れ」『中国新聞』
2024.1.24.